

安全データシート

作成：2009年5月11日

改訂5：2018年6月14日

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : アスロンC
会社名 : 日本製紙株式会社
住所 : 東京都千代田区神田駿河台4-6
電話番号 : 03-6665-5960
FAX番号 : 03-6665-0360

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性 : 皮膚腐食性及び刺激性 区分1
: 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分1
: 発がん性 区分1A
: 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分2(呼吸器系)
: 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(呼吸器系、腎臓)

GHSラベル要素



注意喚起語

危険

危険有害性情報

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

発がんのおそれ

呼吸器系の障害のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器系、腎臓の障害のおそれ

注意書き

【安全対策】

使用前に取扱い説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

粉じんを吸入しないこと。

取扱い後は顔、手、眼をよく洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急処置】

「4. 応急措置」を参照

【保管】 「7. 取扱い及び保管上の注意」を参照
 【廃棄】 「13. 廃棄上の注意」を参照

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学品名又は一般名	含有率 (%)	化学式	CAS 番号	官報公示整理番号
ポルトランドセメント	非開示	特定できません	65997-15-1	-
石英	非開示	SiO ₂	14808-60-7	1-548
無機塩	非開示	非開示	登録有	登録有
金属酸化物 (酸化カルシウム、酸化アルミニウムを含む)	非開示	非開示	登録有	登録有
炭素繊維	非開示	C	7440-44-0	対象外

4. 応急措置

飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

皮膚(又は髪)に付着した場合

: 多量の水と石けんで洗うこと。直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

ばく露またはばく露の懸念がある場合

: 医師の診断/手当を受けること。

気分が悪いときは医師の診断/手当を受けること。

汚染された衣服を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

5. 火災時の措置

消火剤 : 不燃物質であるため必要としない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

: 回収作業には、保護手袋、保護長靴、保護眼鏡、防塵マスク等の保護具を着用する。

環境に対する注意事項 : 粉じんが飛散しないようにする。濃厚な洗浄水は中和、希釈処理等により、河川等に直接流出しないように対策をとる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

: 漏出、飛散した場合には、掃除機、スコップ、箒等により、できるだけ粉体の状態で回収し、廃棄まで容器で保管する。やむをえず床面等に残ったものは、水で洗浄する。洗浄水は回収し、中和処理等により適切に処理する。回収物や回収した洗浄水は、13. 廃棄上の注意に従い廃棄または排水する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : [取扱者のばく露防止]
 眼、皮膚等への接触を避けるため、適切な保護具(保護手袋、保護長靴、保護眼鏡、防塵マスク等)を着用する。取り扱い後は、顔、手、口等を水洗する。
- 局所排気・全体換気 : 屋内で取り扱う場合は、換気に注意する。
- 安全取扱注意事項 : みだりに粉じんが発生しないように取扱う。
- 接触回避 : アルカリ性なので、酸性の製品との接触を避ける。

保管

- 安全な保管条件 : [混触禁止物質]
 水と接触のおそれがない場所に貯蔵すること。
 [適切な保管場所や避けるべき保管条件]
 部外者が触れない措置を講ずること。乾燥した場所に保管する。
 [安全な容器材料]
 防湿性の容器

8. ばく露防止及び保護措置

- 設備対策 : 室内で取り扱う場合は管理濃度以下にするために十分な能力を有する換気設備を備える。多量に取り扱う場合は集塵機を設置する。

管理濃度 : 労働安全衛生法作業環境評価基準 0. 2 6 mg/m³

許容濃度

- 日本産業衛生学会 : 吸入性結晶質シリカ 0. 0 3 mg/m³
 第2種粉塵 [吸入性粉塵] 1 mg/m³
 [総粉塵] 4 mg/m³

ACGIH : 0. 0 2 5 mg/m³ (結晶質シリカ)

保護具

- 呼吸用保護具 : 防塵マスク
 手の保護具 : 保護手袋
 眼の保護具 : 保護眼鏡
 皮膚及び身体の保護具 : 保護長靴、保護衣

9. 物理的及び化学的性質

- 外観(物理的状態、形状、色) : 固体、粉末、灰白色
- 臭い : 無臭
- pH : 水に接触すると12~13
- 融点・凝固点 : データなし
- 燃焼性 : 不燃性
- 嵩比重 : 1. 2~1. 4
- 溶解度 : 水に難溶
- 分解温度 : データなし

その他のデータ : 水硬性

10. 安定性及び反応性

反応性 : 通常の取扱い条件では安定
 安定性 : 水と反応して安定固化する。
 危険有害反応可能性 : フッ化水素と反応する(石英)
 避けるべき条件 : 粉じんの拡散
 混触危険物質 : フッ化水素
 危険有害な分解生成物 : なし

11. 有害性情報

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 水と接触するとアルカリ性を呈し眼、鼻、皮膚に対し刺激性があり、眼の角膜、鼻の内部組織、皮膚に炎症を起こす可能性がある。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

: 水と接触するとアルカリ性を呈し眼、鼻、皮膚に対し刺激性があり、眼の角膜、鼻の内部組織、皮膚に炎症を起こす可能性がある。

呼吸器感作性又は皮膚感受性

: 極微量のクロム化合物が含まれており、六価クロムに対して過敏である場合にアレルギーが起こる可能性がある。

発がん性

: [結晶質シリカ]

IARC68 (1997) は 1、NTP RoC (11th, 2005) は K、産衛学会勧告 (2005) は 1 に分類しており、区分 1A とした。

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

: [結晶質シリカ]

反復暴露に比べるとデータが大幅に少ないが、ヒトにおいて短期暴露でも吸入濃度が高い場合は呼吸器系に影響を及ぼすとの記述が IARC68 (1997)、SITTIG (4th, 2002)、DHP (13th, 2002) にある。IARC68 (1997) は Priority 1 文書であるため、区分 1 (呼吸器系) とした。

[金属酸化物(酸化カルシウム)]

粉塵吸入は気道の炎症 (ACGIH (2001))、肺炎 (HSDB (2005)) を起こすとの記載より区分 1 (呼吸器系) とした。

区分 1 (呼吸器系) の物質が混合物中に 1% 以上 10% 未満存在するため、混合物を区分 2 とした。

特定標的臓器毒性 (反復暴露)

: [結晶質シリカ]

Priority 1 文書の CICAD24 (2000)、IARC68 (1997)、DFGOT vol.14 (2000)、ACGIH-TLV (2005) に、ヒトにおいて呼吸器系、腎臓に影響を及ぼすとの記述があり、区分 1 (呼吸器系、腎臓) とした。

[金属酸化物(酸化アルミニウム)]

酸化アルミニウムの職業暴露により、肺に腺維症が認められた (EHC[1

997)との記載より区分1に分類した。

[金属酸化物(酸化カルシウム)]

鼻中隔の潰瘍、穿孔 (ACGIH [2001])、(ICSC [1997]) の記載より区分1 (呼吸器系) に分類した。

区分1 (呼吸器系、腎臓) の物質が混合物中に1%以上10%未満存在するため、混合物を区分2とした。

1.2. 環境影響情報

生態毒性	: 情報なし
残留性・分解性	: 情報なし
生体蓄積性	: 情報なし
土壌中の移動性	: 情報なし

1.3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 固化後、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき廃棄する。洗浄水などの排水は、水質汚濁防止法等の関係諸法令に適合するように十分留意しなければならない。処理等を外部の業者に委託する場合は、都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に産業廃棄物管理票(マニフェスト)を交付して委託し、関係法令を遵守して適正に処理する。
汚染容器及び包装	: 容器は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に従い処分する。

1.4. 輸送上の注意

国際規則	: 該当しない。
国内規制	: 該当しない。
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	: 粉じんのたたない方法で輸送する。破袋、損傷、容器からの漏れ、荷崩れなどの防止を確実に行う。湿気・水漏れに注意する。

1.5. 適用法令

廃棄物の処理及び清掃に関する法律
労働安全衛生法

表示・通知対象物質：ポルトランドセメント、結晶質シリカ、酸化カルシウム、酸化アルミニウム

1.6. その他の情報

参考文献 : 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 GHS 分類結果
原料メーカーSDS

記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は、通常取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。すべての化学品には未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願い申し上げます。